

【資料】インターネットにおける出版物の侵害状況について

130513 株式会社集英社

【株式会社集英社の不正ファイル削除実績】

インターネット上や世界中のサーバに不正にアップロードされている出版物（無許諾のスキャンデータ）を全て把握することはもはや不可能です。株式会社集英社（以下「弊社」）が把握している極めて限定的な条件での例をご紹介します。

弊社は、Attributor 社という検索・削除システムの会社にコミックスの主要 18 タイトルについて不正なデータの検索・削除作業を委託しており、日本を含む全世界のインターネット上を常時監視しています。

◎2012/11/1～2013/3/31（5ヶ月間）の不正ファイル削除要請件数

42,234 件（月平均 8,447 件）（対象・サイバーロッカー）

◎（参考）2012/5/1～2012/10/31（6ヶ月間）の不正ファイル削除要請件数

44,889 件（月平均 7,482 件）（対象・サイバーロッカー）

◎その他、主要タイトル以外の社内スタッフによる削除要請 月平均 4,000～5,000 件。
（対象・サイバーロッカー及び AppStore、Google Play Store）

合計、毎月 12,000 件～14,000 件の不正ファイルの削除を要請していることになり、その総数は微増傾向にあります。

ただし、これはあくまで不正なファイルのタイトル数であり、1 タイトルが何回閲覧またはダウンロードされたかはカウントできません。やや古いデータですが、かつて YouTube で「スライドショー」と称する漫画の不正投稿が大流行していた折の 2010 年 2 月 22 日（当該作品が掲載された『週刊少年ジャンプ』の公式発売日）、投稿された 101 本の『ワンピース』第 575 話ファイルのうち最も再生回数が多かったものは、1 ファイルで 1,053,143 回再生されておりました。101 本の合計再生回数は数百万回であったろうと思われま

す。また、Attributor 社への委託料は、大変高額です。

サイバーロッカー（オンラインストレージ）は、出版物に限らずデジタルデータを個人でアップロード・保管するとともに、不特定多数がダウンロードすることを可能にする合法的なサービスです。2012 年 1 月に FBI が強制捜査の上閉鎖に追い込んだ、当時世界最大のサイバーロッカー MEGAUPLOAD は、「会費収入 170 億円、預金など 50 億円を押収された」と言われています。またその収入源となったデータは、ハリウッドの映画とともに、日本の漫画だと言われています。

【ファイル共有ソフトにおける不正ファイルの流通】

上記の検索にカウントされない違法ファイルの流通チャンネルがファイル共有ソフト（Winny、Share、ParfectDark）です。前記 3 ソフトの利用者のほとんどは日本人であり、日本の ISP を利用しています。度重なる刑事摘発と ISP を経由した啓発メール活動で、

最盛期の 5～3 割に減ったといわれるファイル共有ソフトですが、その不正ファイルの流通量は、依然膨大です。

1 日 (24 時間) あたりのノード数 (ネットワーク上でファイル共有ソフトに接続している機器、主に PC 台数) Winny 約 2 万台、Share が約 5.9 万台、PerfectDark が約 3.4 万台

「Winny」ノード数約 2 万台と推定。流通するファイル全体の 42.75%が著作物と推定。うち、権利の対象であり無許諾で送信されていると推定されるものが 96.44%を占める。

「Share」ノード数約 5.9 万台と推定。流通するファイル全体の 49.25%が著作物と推定。うち、権利の対象であり無許諾で送信されていると推定されるものが 96.98%を占める。

「Perfect Dark」ノード数約 3.4 万台と推定。流通するファイル全体の 60.70%が著作物と推定。うち、権利の対象であり無許諾で送信されていると推定されるものが 96.11%を占める。

(コンピュータソフトウェア著作権協会 2013 年 1 月のクローリング調査資料による)

【参考「北米における MANGA の侵害状況」(2012 年度)】

最新の信頼できる報告から、北米における日本の漫画の被害状況もいくつかご報告します。

◎北米における正規発行点数と違法コンテンツの比率 (2002～2011 の 10 年間)

国内発行点数 111,318 点 (市場規模 46,633 億円)。

北米発行点数 9,145 点 (市場規模 1,126 億円) 国内比 8.2% (2.4%)

対して、北米違法コンテンツの流通点数は約 5 万点 (国内発行点数の 45%)

※過去 5 年間 (2007～2011) の違法コンテンツが英語版単行本で販売されたと過程した場合の推定損失額は、1,500～3,000 億円に上ります。

◎2011 年度の代表的な「日本の漫画」の北米オンラインリーディングサイト 3 サイトの閲覧状況

Manngafox.com Mngareader.net Mangastream.com は当時の大規模悪質なサイトでした。その 3 サイト合計で、

月間ユニークユーザ数 900 万人

月間ページビュー数 20 億 PV

すなわち、1 ユーザあたりの平均 PV 数 月間 222 PV (週間 55PV)

●無料で利用しているユーザのうち、1.0%前後が購入に結び付き、1 冊 5 ドル単価のコミックスを平均 3 冊購入したと仮定すると、過去 5 年間で 8100 万ドル(約 65 億円)の損害。

●また、過去 5 年間で違法 3 サイトが売上げた想定される Ad Sense 広告収入額は、7200 万ドル(約 57.5 億円)と推定されます (計算式は省略)